



security == wealth ? leavers : takers

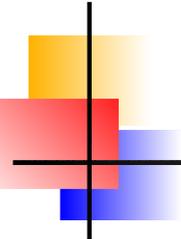
## 「セキュリティ」と「富」

～ サイバー空間の新しい安全保障へ～

慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員・環境情報学部 講師 (非常勤)

斉藤 賢爾

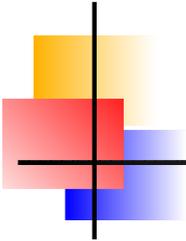
[ks91@sfc.wide.ad.jp](mailto:ks91@sfc.wide.ad.jp)



# 簡単な自己紹介

---

- 齊藤 賢爾 (さいとう けんじ)  
慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員 (村井純 研究室)  
株式会社ブロックチェーンハブ CSO (Chief Science Officer)  
一般社団法人アカデミーキャンプ 代表理事
  - 経歴
    - 1993 年、コーネル大学より M.Eng 取得 (コンピュータサイエンス)
    - 2006 年、慶應義塾大学より博士号取得 (政策・メディア)
    - 慶應義塾大学 大学院 政策・メディア研究科や SFC 研究所にて 16 年以上にわたり P2P およびデジタル通貨等の研究に従事
    - 2011 年夏より福島の子どもたちのための「アカデミーキャンプ」を実施
- 私の頭の中ではつながっています (これからの社会のデザインは?)

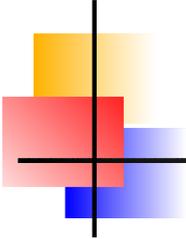


# 「私のイシュマエル」から

- Of course when the people of your culture look at tribal peoples, they don't see **wealth** of any kind, they see poverty. This is understandable, since the only kind of **wealth** they recognize is the kind that can be locked up, and tribal peoples are not much interested in that kind.
- The foremost **wealth** of tribal peoples is cradle-to-grave **security** for each and every member.

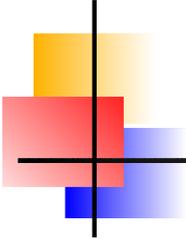
– Daniel Quinn, “My Ishmael”

- もちろん君たちの文化 (訳注:日本を含む現代社会) の人間が部族社会の人々を見たら、何の**富**も見いだせず、貧困しか見えないだろう。なにしろ、彼らが**富**として認識できるのは鍵を掛けてしまっておけるものだけだからね。そして部族社会の人々はそういうものにはあまり興味がない。
- 部族社会の人々にとっての主要な**富**とは、その構成員一人ひとりにとっての揺り籠から墓場までの**安全保障**さ。



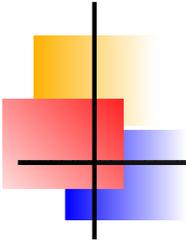
# 農耕・産業社会と狩猟採集社会におけるセキュリティ

- 農耕・産業社会におけるセキュリティ
  - 「富に鍵を掛けてしまっておくこと」
  - 専門分化 / 貨幣経済 / 支配と服従 / 利益の最大化 の世界観の中で
- 狩猟採集社会におけるセキュリティ
  - 「一人ひとりの人間の安寧を保障すること (人間の安全保障)」 → 富
  - 専門未分化 / 贈与経済 / 平等 / 分配 の世界観の中で



# 「富」とは何か

- 富というのは... 私たちが**ある数の人間**のために具体的に準備できた**未来の日数**のことだ  
(注：富は「人数 × 時間」で測られるし、**金融資産のことでは無い**と他所で例証)
- 富とは未来に向かってエネルギーの再生がうまくいくようにする私たちの能力で... なにかを始め、干渉されずに行動していく**自由度を高めていく**... 能力でもあり... サイバネティクス的に... エネルギー... と... ノウハウというふたつの主要部分に分類できる
  - B. フラー 「宇宙船地球号操縦マニュアル」
- 富とは「安全保障」である
  - D. クイン 「私のイシュマエル」
- 私たちの「富」とは社会の中で人間の安全を保障するための
  - 1. 物質・エネルギー      2. 知識 (ノウハウ)      ← 構成員一人ひとりに届ける責任



# テトラッド (*tetrad*) (4つ組)

- メディア (= あらゆる技術や人工物) についての、4つでひと組の問いかけ
  - 強化 ... それは何を強化し、強調するのか?
  - 衰退 ... それは何を廃れさせ、何に取って代わるのか?
  - 回復 ... それはかつて廃れてしまった何を回復するのか?
  - 反転 ... それは極限まで押し進められたとき何を生みだし、何に転じるのか?  
— マクルーハン 「メディアの法則」
- あらゆるメディアについて質問できる問い
  - そのメディアが人と社会にもたらす副作用は何か

# 金融・貨幣経済 (私たちの社会の基盤) のテトラッド

- 交換・消費、貯蓄・投資
- 専門分化、農耕・産業社会

- 格差・未来からの搾取・破産
- デジタル通貨、フィンテックとその先

強化

反転

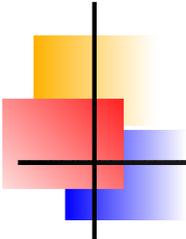
回復

衰退

- 支配と服従、ヒエラルキー
- 利益の最大化

- (貨幣無き) 信用システム、贈与経済
- 専門未分化、狩猟採集社会

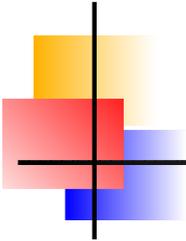
- 新しいメディアは過去に衰退させられていたものを回復させる
- 本当に「貨幣無き信用」「贈与経済」「専門未分化」「狩猟採集社会」は回復するのか？



# ステップ・バイ・ステップ

---

- 貨幣や金融が先鋭化すると「交換・消費」は停滞する
- シェアリングエコノミーが台頭する
  - 専門性を伴わずに経済を営むライフスタイル
- 課税すべき経済活動が縮退する
  - 公共を担う方法に変化が生じる
- その時点でそもそも貨幣の衰退が起きている
  - 貨幣経済の原理を推し進めていくことで、逆に貨幣を必要としない融通のソリューションが選択されていき、貨幣はむしろ表舞台から退いていく
- 「雇用」や「売りと買いの分離」という考え方が崩壊する
  - 「支配者/被支配者」や「生産者/消費者」といった関係が溶けていく



# 新しいサイバーセキュリティへ

---

- “Sharing is the new security” ← 文字通りの意味で
- 情報空間において一人ひとりの人間の安寧を保障するには？
  - 潤沢な情報資源を共有し一人ひとりに届けられる社会
    - それにより一人ひとりの人生の目的と可能性を全うできる
  - 専門未分化 (万能化) / 贈与経済 / 平等 / 分配 の世界観の中で